

Press Release

2026年1月27日

報道関係者 各位

茨城県立笠間陶芸大学校

担当：常世田、吉田

電話：0296-72-0316（代） 茨城県



笠間工芸の丘にて笠間長石×栗灰の作品を発表します！

笠間陶芸大学校では、産地のブランド力強化のため笠間焼協同組合と共同研究を行い、新たな釉薬素材として、2021年に「笠間長石」※1、2023年に「栗灰」※2を開発いたしました。

また、2023年に『笠間長石プランディング研究会』を設立し、笠間焼作家とともに「笠間長石」や「栗灰」の活用を目指し、活動してまいりました。

このたび、これら2つの地域素材の魅力を生かした新しい笠間焼の展示会を笠間工芸の丘にて開催いたしますので、是非ご取材くださいますようよろしくお願ひいたします。

KASAMAの色～笠間長石と栗灰による新たな試み～

- 日 時 2026年2月11日(水・祝)～2月23日(月・祝)
10:00～17:00(最終日16:00終了)
※会期中休館日：2月16日(月)
- 場 所 笠間工芸の丘 ギャラリーカフェ(笠間市笠間2388-1)
- 参加作家 阿部慎太朗、磯部祐介、植竹敏、大関信一、スタジオ・オーク、奥田いつ花、河野陶房、小林哲生、酒井敦志之、佐川義乱、佐藤剛、塩谷彩乃、庄司健、関川佳古、高田藍紗、武伸也、額賀章夫、増渕悠颯(向山窯)

※1 「笠間長石」とは

笠間産稻田石を原石から砕石へ加工する際に派生する粉末です。

笠間長石には微量な鉄分が含まれており、釉薬の主原料として使用することで焼成方法によって黄味や青味が生まれるほか、配合によっては黒雲母の斑点が出るという特徴があります。



※2 「栗灰」とは

笠間の名産品『栗』の剪定枝を焼却した際に出る灰です。

通常、灰は処分されますが、水簸（アク抜き）などの工程を経て、釉薬原料として利用できるようになり、栗を連想するやわらかい発色が見られます。

